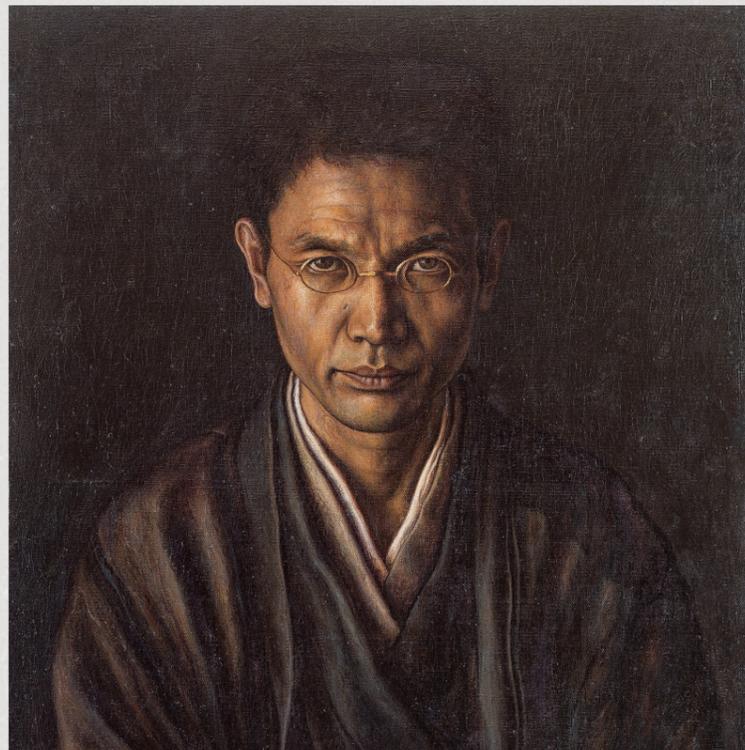


生誕130年記念

高島野十郎展

■会期 9月5日(日)～11月7日(日)
■会場 市美術館 (☎324・6125)



〈絡子をかいたる自画像〉(部分) 1920年 福岡県立美術館蔵



〈からすうり〉1935年 福岡県立美術館蔵



〈睡蓮〉(部分) 1975年 福岡県立美術館蔵

市美術館は、画家・高島野十郎の生誕130年を記念した企画展を開催します。

油彩による写実を独学で追求した高島野十郎。生涯描き続けたろうそくの火や、夜空に浮かぶ月などの作品には、高島独自の写実への執念が込められています。

本展では、10代から晩年までの油彩画90点を紹介します。近年新たに発見された作品も展示。ろうそくなどを鉛筆で描き続けている画家・秋山さんの特集展示も同時開催します。期間中、学芸員や秋山さんによる作品解説会やギャラリートークを行います(予約制)。

問い合わせは、同館へ。

美術館案内

●開館時間 午前10時～午後6時(金曜日は午後8時まで、入館は閉館の30分前まで)
●休館日 11月曜日(9月20日を除く)、9月21日(火)・24日(金)・11月4日(木) ●観覧料 一般600円、高・大学生300円、65歳以上と中学生以下は無料。10月28日(木)は県民の日のため観覧料無料

関連事業

いずれも、費用は無料(観覧料は別途)です。
ワークショップ・ろうそくを見つめて描く

●日時 11月7日(日)午後1時～4時 ●会場 南公民館 ●内容 秋山さんを講師に、本物のろうそくや写真を

見て鉛筆で描く ●対象 小学生以上の人(小学3年生以下は保護者同伴) ●定員 11先着15人 ●申し込み 電話で市美術館へ
俳句 in ミュージアム

作品や作家への思いを込めた俳句を募集します。募集期間など詳しくは、市ホームページで確認してください。

市ホームページ



川柳 おらほうの言葉

今月のお題 「つるさる」

アスリート 首につるさる 夢を追う (新町 新井 豊作)

婆ちゃんに つるさる孫の モミジの手 (下斉田町 石原 重子)

つるさった マスクは家族の 数干され (貝沢町 大塚 節子)

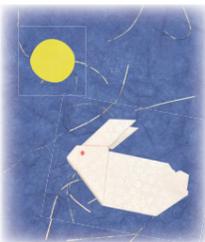
いつか着る つるさる服も 捨てられず (倉賀野町 高田 敬子)

出番なく 浴衣つるさる 奥座敷 (上中居町 平野 道子)

つるさった 赤提灯が なつかしい (下之城町 菊池 修)

つるさって 軒の祭りや 柿すだれ (町屋町 桜井 覚)

(敬称略)



今月のお題は「つるさる」で「つり下がる、ぶら下がる」を意味するおらほうの言葉です。

お便り紹介

「つるさる」 つるさる風鈴夕涼み」今年の夏もとても暑かったですね。風鈴が鳴ることと涼を感じました(上小埜町の山田みゆきさん)

今年もえらいあつちいけんど、ふと聞こえるスズムシの声や、ほのかなキンモクセイの香りに、秋の訪れを感じるんさね。

次回のお題は「おこさま」で「蚕」を意味します。「おこさまがえらい勢いで桑を食べてるんね」「うちの実家は、昔おこさまを育ててたんさ」のように使います。

応募は9月15日(水)までに、はがきかファクス(☎328・2726)で住所・氏名・電話番号を書いて、広報広聴課へ。Eメールでの応募は kouhou@city.takasaki.gunma.jp へ。

cinémathèque takasaki
NONPROFIT ORGANIZATION TAKASAKI COMMUNITY CINEMA
シネマテークたかさき (☎325-1744)

支配人のおすすめ
ベルヴィル・ランデブー
フランス他 9/11(土)～24(金)
監 シルバン・ショメ



内気な孫チャンピオンに三輪車を買って与えたおばあちゃん。やがてチャンピオンはツールド・フランスに出場するまでに成長しますが、レース中に何者かに誘拐されてしまいます。孫を救うため、おばあちゃんは愛犬とともに大救出劇を展開します。台詞はほとんどなく、効

果音やジャズの小気味よい音楽で物語が展開されるので観ていて楽しく、デフォルメされたキャラクターたちが織り成す不思議な世界に心地良く魅了されるアニメーションです。シティギャラリーで開催中の「メルヘンと遊びの世界展」の関連イベントの一つです。(小林)